

12・5 老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか 報告

12月5日、大阪のうつぼ公園で開催された「老朽原発このまま廃炉！」の集会には1600名が結集し、集会後御堂筋を難波までデモ行進して沿道の市民にアピールしました。

関西電力は、40年超えの老朽原発美浜3号機を6月23日に再稼働し、特重施設の建設が間に合わないため、10月24日に運転を停止しました。わずか3カ月の営業運転を強引に行ったのは、政府や電力資本の、法律を無視してでも40年超えの老朽原発を再稼働させていくのだという意向を反映したものに他なりません。

老朽原発うごかすな！実行委員会は10月23日～12月4日を老朽原発このまま廃炉！キャンペーン期間に設定し、12.5集会に向けてできることは何でもやろうと様々の取り組みを行いました。ヒトリデモ、講演会、スタンディング、チラシ配布、アンケート配布、抗議行動、団体回り、各種集会でのアピール、デモ行進、とりわけ若狭での高浜から美浜までの5日間のリレーデモなど10府県にまたがり、72回の取り組みを行ってきました。

総選挙などもあり、準備期間も短い取り組みでしたが、実行委員会の熱意が若狭、関西、全国の方々の共感を得ることができたのではないのでしょうか。

原発が抱える問題点と運動の課題を集会アピールは端的に示しています。「原発は、使用済み核燃料の蓄積、重大事故時の避難の困難さ、トラブルの多さ、耐震性の低さ、発電コストの高さ、電力会社の企業倫理の低さ、いずれの面からも、稼働を容認できる装置ではありません。原発は万が一にも重大事故を起こしてはならない装置です。老朽原発を廃炉に追い込み、それを突破口に、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しましょう！」
(文責：瀧川)

京丹後市あてに申し入れ書を提出 市役所前でアピール行動 12月9日



京都連絡会では12月9日、京丹後市の12月議会の開催にあたり、京丹後市あての申し入れ書を提出し、あわせて京丹後市役所前でのアピール行動を行いました。

京丹後市がXバンドレーダー基地の受け入れを表明した当時、防衛省に対して<10条件>を提出しました。レーダーの本格稼働から7年近くが経った今日、やはりそれはきちんと守られてはいないと言わざるを得ません。

つい先日には12日間連続で昼夜を問わず発電機が稼働しました。商用電力の導入後もトラブル続きで、頻繁に発電機の稼働が行われています。京丹後市は夜間の発電機の稼働の中止を米軍・防衛局に求めましたが、無視されました。それは、住民の生活ではなく、米軍の都合が常に優先されることをあらためて示しています。私たちはこのような事態に強く抗議します。

米軍Xバンドレーダー基地は当初からの住民の懸念を解決しておらず、京丹後市による基地受け入れ表明に際する「10条件」もいまだ満たされていません。また、この基地の存在は東アジアにおける軍事緊張を促進し、平和の実現に向けた道を阻害しています。京都にも沖縄にも、基地はどこにもいない！の闘いはますます重要になっています。



※連帯労組関西生コン支部への大弾圧に反撃する元旦行動が予定されています。注目と参加を！